

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公表番号】特表 2002-510667 (P2002-510667A)

【公表日】平成 14 年 4 月 9 日 (2002.4.9)

【出願番号】特願 2000-542285 (P2000-542285)

【国際特許分類】

C 0 7 C 57/26 (2006.01)

A 6 1 K 31/196 (2006.01)

A 6 1 K 31/203 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 C 57/50 (2006.01)

C 0 7 C 59/72 (2006.01)

C 0 7 C 233/55 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 57/26

A 6 1 K 31/196

A 6 1 K 31/203

A 6 1 P 35/00

C 0 7 C 57/50

C 0 7 C 59/72

C 0 7 C 233/55

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 5 日 (2006.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

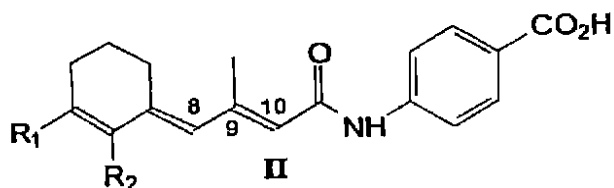
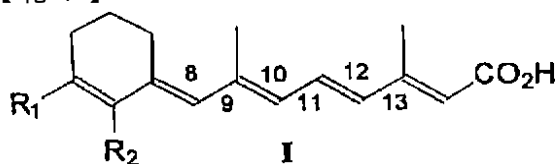
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記構造より成る群から選択される構造を有するレチノイド化合物。

【化 1】

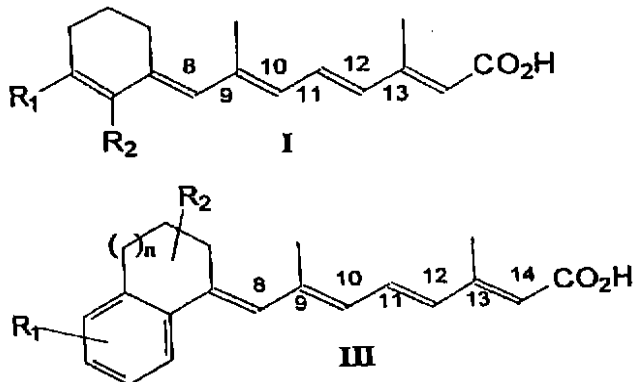


(式中、 R_1 は、H、エチル、メチル、n - プロピル、i - プロピル、t - ブチル、フェニル、ベンジル、環状アルキル (C 3 - C 8)、アリールおよびアリールアルキルより成る群から選択され、そして R_2 は、2 - メチルプロピル、n - ブチル、シクロヘキシル、3 - シクロヘキセニル、ベンジル、環状アルキル (C 3 - C 8)、およびアリールアルキルより成る群から選択される。)

【請求項 2】

下記構造より成る群から選択される構造を有するレチノイド化合物。

【化 2】

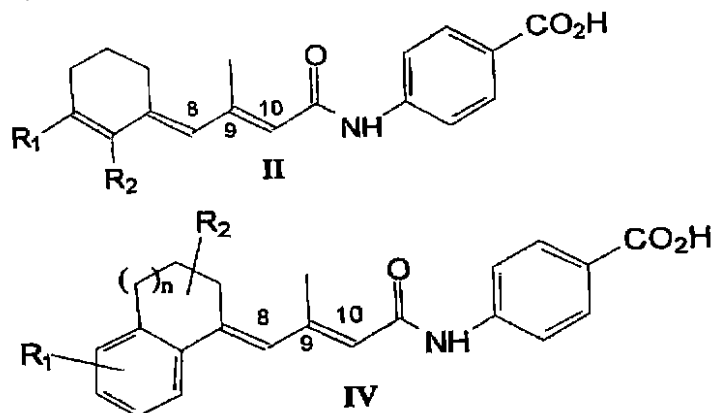


(式中、 R_1 は、フェニル、ベンジル、環状アルキル (C3 - C8)、アリールおよびアリールアルキルより成る群から選択され、そして R_2 は、H、エチル、メチル、n - プロピルおよび i - プロピルより成る群から選択される。)

【請求項 3】

下記構造より成る群から選択される構造を有するレチノイド化合物。

【化 3】

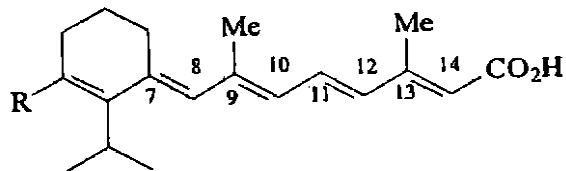


(式中、前記 R_1 は、アリール環上で1つまたは2つの置換基を表し、そしてH、エチル、メチル、n - プロピル、i - プロピル、t - ブチル、フェニル、ベンジル、クロロ、フルオロ、メトキシ、エトキシ、ベンジルオキシ、環状アルキル (C1 - C8)、アリール、アリールアルキル、アルキルオキシ、アリールオキシ、アリールアルキルオキシ、およびハロゲンより成る群から選択され、そして R_2 は、H、エチル、メチル、n - プロピル、i - プロピル、2 - メチルプロピル、n - ブチル、シクロヘキシル、3 - シクロヘキセニル、ベンジル、メトキシ、エトキシ、ベンジルオキシ、環状アルキル (C1 - C8)、アリール、アリールアルキル、アルキルオキシ、アリールオキシおよびアリールアルキルオキシより成る群から選択され、そして $n = 0 - 3$ である。)

【請求項 4】

下記構造を有する、(9Z) - UAB20、(全E) - UAB20、(9Z) - UAB21および(全E) - UAB21より成る群から選択されることを特徴とする請求項1記載のレチノイド化合物。

【化 4】

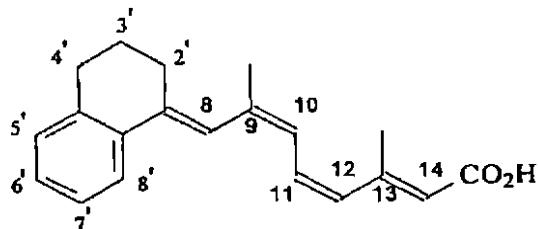


(式中、前記(9Z)-UAB20および(全E)-UAB20は、 R_1 としてPh基を、そして R_2 として*i*-プロピル基を有し、そして(9Z)-UAB21および(全E)-UAB21は、前記 R_1 として $CH_2CH(CH_3)_2$ を、そして R_2 として*i*-プロピル基を有する。)

【請求項5】

下記構造を有する、(9Z)-UAB30、(9Z)-UAB31、(9Z)-UAB32、(9Z)-UAB33、(全E)-UAB33、(9Z)-UAB34、および(9Z)-UAB35：

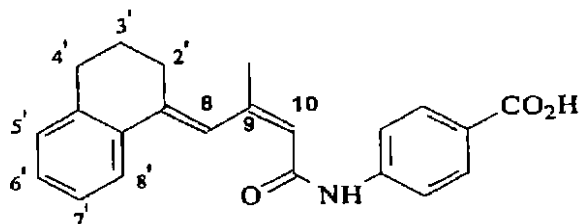
【化5】



(式中、前記(9Z)-UAB30はアリール環上に置換基Hを有し、(9Z)-UAB31はアリール環上に置換基5'-メトキシを有し、(9Z)-UAB32はアリール環上に置換基6'-メトキシを有し、(9Z)-UAB33はアリール環上に置換基7'-メトキシを有し、(全E)-UAB33はアリール環上に置換基7'-メトキシを有し、(9Z)-UAB34はシクロアルキル環上に置換基4'-メチルを有し、(9Z)-UAB35はアリール環上に2つの置換基5', 7'-ジメチルを有する。); ならびに、

下記構造を有する、(9Z)-UAB60、(9Z)-UAB61および(9Z)-UAB62：

【化6】



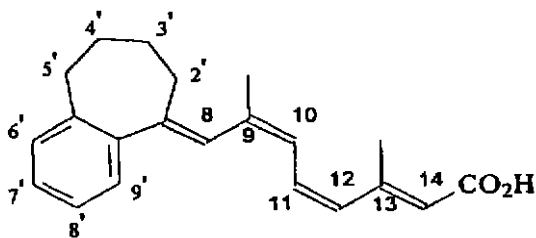
(式中、前記(9Z)-UAB60はアリール環上に置換基Hを有し、(9Z)-UAB61はアリール環上に置換基5'-メトキシを有し、そして(9Z)-UAB62はアリール環上に置換基7'-メトキシを有する。)

よりなる群から選択されることを特徴とする請求項3記載のレチノイド化合物。

【請求項6】

下記構造を有する(9Z)-UAB40であることを特徴とする請求項3記載のレチノイド化合物。

【化7】

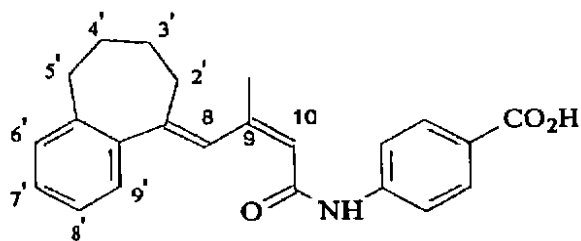


(9Z)-UAB40

【請求項7】

下記構造を有する(9Z)-UAB70であることを特徴とする請求項3記載のレチノイド化合物。

【化8】



(9Z)-UAB70

【請求項8】

UAB8を含有することを特徴とする、新生物形成症状を示す個体を処置するための組成物。

【請求項9】

請求項1から7いずれか1項記載の化合物を含有することを特徴とする、新生物形成症状を示す個体を処置するための組成物。

【請求項10】

請求項1から7いずれか1項記載の化合物を含有することを特徴とする、個体での新生物形成症状の発生を軽減または予防するための組成物。

【請求項11】

UAB8 / 類縁体およびUAB30 / 類縁体より成る群から選択される2または2以上のレチノイド化合物を組み合わせたことを特徴とする、新生物形成症状を示す個体を処置するための組成物。

【請求項12】 前記化合物を、4-ヒドロキシフェニルレチナミドと組み合わせたことを特徴とする請求項8から11いずれか1項記載の組成物。

【請求項13】 前記新生物形成症状が、皮膚癌、胸部癌、膀胱癌、前立腺癌、肺癌、結腸癌および白血病より成る群から選択されることを特徴とする請求項8から12いずれか1項記載の組成物。

【請求項14】

前記化合物が、約10mg/kgから約300mg/kgまでの用量で投与されることを特徴とする請求項8から13いずれか1項記載の組成物。